

小木の子 われら

校 区 内
全 戸 回 覧

令和6年5月30日発行

健全な競争

校長 高橋 高志

先日、「晴天なのに涼しい」という最高に恵まれた天候の下で、小木小学校運動会・小木地区運動会を実施しました。本当に多くの皆様からご来場いただき、ありがとうございました。運動会では、次のように感心することがたくさんありました。

- ◎1年生が、実に堂々と、よく通る声で開会宣言を行っていました。本番が一番上手でした。すごいです！おかげで運動会に勢いがつきました。
- ◎大会スローガンアピール・選手宣誓・ラジオ体操などで、6年生の代表児童の動きがきびきびしていました。さすが「小木小学校のリーダーズ」です。
- ◎応援合戦では、応援団の指揮の下、赤・白とも目一杯体を反らし、全身で声を出していました。三三七拍子も腰を低くしてかっこよくできました。
- ◎応援団長や放送の指示に対して「はい！」という返事をしっかりできました。身に付けた返事の良さ、これからの学校生活でも、ぜひ続けてほしいです。
- ◎下学年のチェッコリ玉入れでは、応援席も一緒にダンスを踊って一体感を出していました。先生に言われた訳ではなく、自然にそのような姿を出せるのがとてもいいです。
- ◎下学年リレーでは、実況の放送がレースの状況に合わせてその場でできていて驚きました。なかなかできることはありません。
- ◎上学年リレーでは、最後の赤チームのアンカーが、大差がついてしまっても手を抜くことなく全速力でゴールまで走り切っていました。（練習の時も、そうでした。）
- ◎地区運動会では、「マーチング」や「小木おけさ」などで素敵な演奏や歌を響かせたり、地域の方や中学生の皆さんと共に進んで種目に参加したりする姿が見られました。

子どもたちが、時には真剣な顔で、時には楽しそうに全力を出し切る姿から、「**健全な競争**」の大切さを改めて感じた一日でした。

近年、環境や価値観の変化等により、水泳大会など佐渡市の小学校で行われてきた行事が持続できなくなりつつあります。中学校区学校運営協議会でも、「学校生活の中で競い合う場面が少なくなっているのではないか」という話をいただいたことがあります。

だからこそ、私は、この運動会は、1年間の中でも特に大切な行事だと思っています。なぜなら、**様々な個性を持った子どもたちが勝利を目指して1つになり、上に書いたように本気で頑張る姿**が見られるからです。

今年の運動会スローガンの通り「勝利をつかみ取る」ために「正々堂々全力で戦う」経

験は、きっと子どもたちの心を強く、豊かにすることでしょう。